

中萩校区まちづくりタウンミーティング 開催結果報告書

開催日時 令和8年8月12日（水）19時00分～20時33分
場所 中萩公民館
司会・進行 中萩校区連合自治会長
参加者数 男33人 女12人 合計45人



1. 市の重点事業に関する質問

質疑応答 なし

2. 校区課題

上部東西線について

（質問者）

上部東西線は幹線道路として地域住民の期待も大きく、待望の案件であることから、早期開通をお願いするとともに、昨年の要望と重複するが、以下の安全対策についてお願いしたい。

（1）「市道萩生出口本線」は交通量も多く、児童・学生の通学路となっていることから、上部東西線と「市道萩生出口本線」の交差点には、信号機の設置についてご配慮いただきたい。

(2) 通行車両や歩行者の見通しを良くするため、路肩の植栽は低木も含めて極力少なくしていただきたい。

(3) 「市道萩生出口本線」と「市道萩生出口支線」の間の農道と交差する部分については、極力安全対策を講じていただきたい。

(建設部長)

(1) 市道萩生出口本線との交差点における信号機設置については、新居浜警察署と協議を行ったところ、「信号機の設置要望については把握している。供用後に見込まれる交通量等を基に、主管課である警察本部交通規制課と協議のうえ検討していく。」との回答を受けている。

(2) 街路樹の植栽については、道路利用者の安全確保を第一とするとともに、今後の維持管理費も考慮したうえで、植栽の実施について検討する。

(3) 「市道萩生出口本線」と「市道萩生出口支線」の間の農道との交差箇所については、新居浜警察署をはじめとする関係機関と十分に連携し、安全対策の実施について検討していく。

(質問者)

植栽については極力少なくしていただきたいという意見が大多数である。自治会や近隣の住民で雑草の除去にも取り組んでいるが、低木等の樹木が植えられると、樹木の間から草が伸びて雑草の除去も難しくなる。このような観点からも、管理しやすいように極力少なくしていただきたい。

(建設部長)

植栽について、これまでとは考え方を多少変えていかなければならないというところは市としても考えているところである。植栽の実施まではまだしばらく時間があるので、今後検討し、極力手間のかからない方法を考えていきたい。

中萩公民館の駐車場について

(質問者)

去年の要望と重複するが、公民館内での行事实施の際には駐車場が不足して大変困っている。中萩小学校西側の自然学習園では距離があって不便である。

近隣民間土地の借り上げや取得を含め、所有者との調整等、自治会も協力するので、駐車場の確保を行っていただきたい。

また近隣での確保が困難であれば、現公民館の老朽化も進んでいることから、将来的な移転建て替えについても検討していただきたい。

(教育委員会事務局長)

中萩公民館の駐車場不足については、ご不便をおかけしている。以前、駐車場として借り受けていた旧国道黒岩橋南西の土地については、賃貸借契約期間の満了に際して購入も検討したが、所有者との合意に至らなかったため、契約期間満了に伴い返還することとなった。

今回、自治会においてもご協力いただけるとのことであるため、従前の場所を含めた駐車場の確保について、連合自治会や公民館運営審議会の皆様からも意見をいただきながら、所

定の手続きに則ったうえで、多方面から改めて検討していく考えである。

なお、中萩公民館の移転建替えについては、「新居浜市公共施設再編計画」において、当面は現状維持することとされており、中長期的な視点では、「更新時には他施設との複合化を検討する」とこととされている。これまでも増築や調理室・トイレの改修等を順次実施してきたが、現在、公共施設再編計画の見直しに着手しているところであり、将来的な移転建替え等については、その中で検討していく考えである。

自治会の在り方について

(質問者)

近年、中萩校区の自治会加入者数が急激に減少している。このままでは、数年後には自治会の存続すら出来なくなる可能性が高い。連合自治会への会費すら払うのが厳しくなっている。自治会員を増やそうとする取組は諦めるしかない。このような現状の中、市は「今後の自治会の在り方」をどう考えているのか聞かせてほしい。

(市民環境部長)

令和8年1月時点における市全体の自治会加入率は50.2%(中萩校区は49.2%)である。

近年は、急激な人口減少や少子高齢化、ライフスタイルの多様化などを背景として自治会加入率が低下しており、この10年間で市全体の自治会加入率は約15%低下し、加入世帯数も約8,500世帯減少している。

このような状況の中、市としては、「コミュニティ活性化事業交付金」をはじめとした各種支援制度により地域活動を支援するとともに、市連合自治会と連携し、自治会加入促進チラシの配布や加入促進キャンペーンの実施、各校区連合自治会の取組を紹介する動画の配信など、自治会活動の意義や魅力を広く発信しているところである。しかしながら、こうした取組のみでは加入率の低下に歯止めをかけることが難しい状況となっている。

今回指摘いただいた課題は、中萩校区だけではなく、市全体に共通する課題である。このため、昨年度、市役所庁内に「地域コミュニティ検討チーム」を設置し、持続可能なこれからの地域コミュニティづくりについて、様々な観点から検討を進めているところである。

また今後は、それぞれの地域が抱える課題や実情に応じた持続可能な運営体制・組織を検討していく必要があると認識している。今後も中萩校区連合自治会をはじめ、多くの地域関係者との継続的な意見交換を重ねながら、地域コミュニティの維持・活性化に取り組んでいく考えである。

(質問者)

自治会に入りたくなるようなメリット、進んでやりたくなるようなこと、または強制的に入らざるを得ないというような何か方策を検討してほしい。自助共助というが、隣の家の人自治会に入っていないからといって災害のときに見捨てることなどできない。

(市民環境部長)

災害時に自治会に入っているか入っていないかで区別することはないと思うが、自治会に入っている人だけがいろいろな面で負担をしているという考え方もあるため、ちょうどいいところを考え、皆さんとも協議しながら検討していきたいと思っている。

3. その他

(質問者)

萩生地区の町名変更について伺いたい。該当する自治会はすべて反対ということだったが、今年もまた同じような確認があった。町名変更は大変な労力と金銭的な問題がある。50年前に計画された町名変更を今後実施するのかどうか伺いたい。

(建設部長)

この件については、地域の皆さんのご理解とご協力が無ければ、市がやるといっても実施は難しい状況である。今の状況を鑑みると、すぐに実施するということは言えないと判断している。今後地域の方から要望があれば、市の財政状況も踏まえての検討にはなる。

(質問者)

50年も前に立てた計画だが、廃案にはならないということか。

(建設部長)

住居表示は義務ではないが、メリットがあって当時進めてきた。それからいろいろな経緯があって合意できなかった。住所を聞いて場所がイメージできるという意味では住居表示を行った方がいいとも思うが、皆さんに負担をかけることになる。現状では廃案というわけではないが、今の状況では進めるのは難しいと判断している。

(質問者)

猫の避妊の補助があると思うが、その制度によって野良猫がどのくらい減ったという報告はあるか。

(市民環境部長)

野良犬は保健所で処分ができるが、野良猫についてはそれができないため、去勢をすることによって繁殖を少しでも減らそうという制度になっている。野良猫がどれだけ減っているかの数字はわからない。

(質問者)

本郷地区で、側溝の上に個人の建物が建って30数年経っているところがある。何回もお願ひしてやっと撤去されたが、30数年放置された原因は何だと思うか。

(建設部長)

大変時間がかかったことは申し訳ない。撤去するにも一定の費用がかかるため、関係者の納得を得る部分で時間がかかってしまったと考えられる。

4. 市長まとめ

いただいた課題については、持ち帰り、関係部署とも共有する。

今後、地方においては、人口減少をはじめとする様々な課題が山積しており、さらに新たな課題も増えてくるものと考えている。こうした課題については、行政としても皆様と協力しながら、一つひとつ解決に取り組んでいきたいと考えている。今後ともよろしく願ひする。